

## 愛川町の取組



愛川町全体で推進する小中一貫教育の中で、同じ中学校区の小・中学校3校が共通の目標「自立・協働 ～たくましく生きぬく力を持つ子～」を掲げ、「学力向上」「交流連携」「児童・生徒支援」という共通の3つの視点をもって、「授業改善」や「教員交流指導」を推進しながら、学びの確かな継続のための取組を行う。

各校では、「学習の中の言語活動を通して思考力・判断力・表現力などを育む」ための校内研究を推進しながら、相互の校内研究に参加し、参観・協議を行うとともに、小中合同研修会・講演会を設けることで、小中のつながりを大切にしながら授業の充実を図る。

## 半原小学校

### 研究テーマ

「すべての児童が楽しく学べるウルトラ授業」  
～インクルーシブ教育を基盤とした授業改善～

#### 【研究の内容】

VUCAの世の中で生きていく子どもたちには次の6つのCの力が必要である。  
〔Critical thinking (批判力)、Creative thinking (創造力)、Confidence (自信・信用)、Challenge spirit (挑戦)、Collaboration (協働力)、Communication (意思疎通力)〕本校では、これら6Cの力を、児童が楽しく学ぶ中で身につけさせたいと考えた。そして、それぞれの教員がインクルーシブ教育を基盤として、STEAM教育、SDGs教育、知識構成型ジクソー法、指名なし討論等、いろいろな手法で取り組んだ。【成果】

互いに授業を見合うことで、自分が知らなかった授業の手法を知り、自分の授業に活かすことができた。「楽しく」ということも、ただ楽しければよいわけではなく、楽しいからもっと学びたいくなる楽しさ、「わかった・できた」と達成感や満足感を感じる楽しさ、友達と共に学ぶことで自分の考えが広がる楽しさであることも、再確認できた。そんな学ぶ楽しさを味わう授業を積み重ねることにより、児童の学ぶ意欲が高まってきていると思う。6Cの力が身についてきたかどうかは今後、アンケート等で見ていきたい。



## 愛川中学校

### 研究テーマ



#### 「つなぐ・つながる」

1. 生徒の知識がつながる授業
2. 授業の中で生徒同士がつながっていく授業
3. 授業と評価をつなげていく授業
4. 授業と家庭学習をつなげる授業
5. 学年・校種・教科間をつなげていく授業

#### 【研究の内容】

- ・授業研究を基盤とした授業改善
- ・校内研だよりの発行
- ・教員相互の授業を見合うことでの授業改善の推進

#### 【成果】

教科を混ぜたグループによる指導案検討を行うことで、様々な視点や考えをもつことができた。また、横浜国大教育学部附属鎌倉中学校の先生方からの評価を含めた話を聞くことで、共通理解を図りながら、授業力の向上に努めることができた。授業を相互参観することで、授業の仕方の細部の伝達につながり、授業改善を推進することができた。

## 田代小学校

### 研究テーマ

「表現する力を育てる算数科の授業づくり」

#### 【研究の内容】

算数科における「表現」とは何か、全職員で共通理解を図り、低・中・高学年・学習室部会に分かれてサブテーマを設定し、全ての学級（すべての学年が単級）で授業を公開し、全職員で全児童を見取りながら研究に取り組んだ。

低学年「自分の思いを形にしよう」

中学年「よりよい表現へ、チャレンジ」

高学年「多様な表現を取捨選択、過程や結果を説明する」  
学習室「学ぶ楽しさを味わい、自分の考えを表現しよう」



#### 【成果】

校内研究会では、横浜国立大学の白井達夫先生のご指導のもと各学年が「数学的に表現すること」を意識し、発達の段階に応じて「言葉、図、数、式、表、グラフ」を活用した授業を組み立てた。その中で「数学的に伝え合うこと」に対する認識を深め、ペア学習、グループ学習、全体共有等を実践することができた。